

させぼ夢大学

発行 ● させぼ夢大学
広報委員会
事務局 / 〒857-0863
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F
TEL.0956-25-9555
FAX.0956-25-9545
sasebo_yumedai@yahoo.co.jp

お尋ねテレホン 25-9556

夢のつづき

させぼ夢大学会報

No.177 <2009・10>

平成21年度
第6回

2009年 **10月15日(木)**

アルカスSASEBO 大ホール

●開 場 午後 5:30
●夢のひろば 午後 6:00
●講 演 午後 6:30

今回は、日本が誇る寄生虫博士として有名な、医学博士の藤田紘一郎さんをお迎えします。『笑うカイチュウ』『サナダから愛をこめて』『ウンココロ』など、題名を見ただけで笑みがこぼれ読みたくなる著書が数多くあります。

藤田さんの寄生虫学研究は、今から30数年前インドネシアに熱帯病の住民検診に行かれた時から始まりました。現地では排泄物を流している川の水をそのまま生活用水に使っているため、体内に回虫をもっている子どもがほとんどだったにもかかわらず、子どもたちはいたって元気でアトピー性皮膚炎にかかっている子どもは皆無だったそうです。

今日本では、30年前にはほとんど



なかった花粉症やアトピー性皮膚炎、喘息などのアレルギー性疾患が、急速に増加してきています。藤田さんは、その原因を快適で便利な「超清潔志向」の世の中が、人々の免疫力を弱らせているからだと考えておられ、これまで悪玉として駆除されてきた回虫やサナダ虫のような「ばっちい」生物(寄生虫)こそが、実は人の健康に一役買っていると言われます。それを証明するために、藤田さんは自らのお腹にサナダ虫の「キヨミちゃん」を懐妊させ、育てておられるらしいとか?!

今日は、抗菌をはじめ何かと清潔志向に走りがちな現代の私たちにとって聞き逃せない貴重な時間になりそうです。ご期待ください。

東京医科歯科大学名誉教授 藤田 紘一郎 氏
人間総合科学大学教授

テーマ ● 「イキイキ長寿健康法」免疫力を高める生活



次回のご案内

- と き / 11月13日(金)
- 講 師 / 俳優 江守 徹氏
- テーマ / 芝居と人生

●昭和19年東京都生まれ。37年文学座研究所入所。41年座員となり、現在に至る。卓越した演技力と豊かな感性、よく響く柔らかい声、総合的な安定感で演劇界屈指の存在として、数々の舞台・映画・テレビドラマへの出演の他、多くの作・演出・翻訳・ナレーションまでこなす。第8回紀伊國屋演劇賞個人賞(『オセロー』)、平成元年度日本アカデミー賞優秀助演男優賞(映画『社葬』)、第2回読売演劇大賞・優秀演出家賞(『ウェストサイドワルツ』『恋ぶみ屋一葉』)などを受賞。

藤田 紘一郎氏のプロフィール

●昭和14年中国・旧満州生まれ。40年東京医科歯科大学医学部卒業。東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。寄生虫博士・カイチュウ博士として知られる医学博士。長崎大学教授、東京医科歯科大学教授などを経て、現職。著書に「笑うカイチュウ」「日本人の清潔がアブナイ!」等多数。長崎県医師会医学奨励賞、日本文化振興会・社会文化功労賞および国際文化栄誉賞など受賞。





齋藤 孝氏



させぼ夢大学講演会

コミュニケーションを拡げる日本語の力 講師/齋藤 孝氏



「話し方は読書力で分かる」「纏めて話す訓練が大切」「ことばは豊かな人間関係をつくる」等は、ずばり核心をつかれた思い。齋藤先生のお名前を知ったのは「声に出して読みたい日本語」

今、TVの上、トイレ(失礼)等、だから手にしない日はない。自称、シャベン(車内勉)テレビの文章の素晴らしさ、新鮮さ懐かしさを、更に音読する快感を味わっている。暗誦もいくつかできる。最初は「寿限無」。それにしても話の内容や解説文のユニークさは驚くばかり。古典から現代文まで幅広く、日本語に精通しないと出来ることではない。

最近ではテレビにも毎週出られるが、夢大学にお出になった先生は、まだまだお若い！演壇の前に立ちつばなしでエネルギーがシユに最後までお話しになり、スマートなのにパワー全開で私共の身体全体を揺さぶって下さ

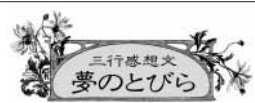
話し方は読書力でわかる

大潟町 松尾 真彦

TVで拝見する以上の優しさと親近感。それを超越するハイテンションの語りや、身振り手振り、笑いの渦に包み込む渾身の話はさすがだ。まさに「コミュニケーションを拡げる日本語の力」で、二千人の心をぐいぐいと引きつける。日頃、こんな授業を受けられる学生は幸せだ。喋るのが苦手な私にとつて「話し方は読書力で分かる」「纏めて話す訓練が大切」「ことばは豊かな人間関係をつくる」等は、ずばり核心をつかれた思い。

今、TVの上、トイレ(失礼)等、だから手にしない日はない。自称、シャベン(車内勉)テレビの文章の素晴らしさ、新鮮さ懐かしさを、更に音読する快感を味わっている。暗誦もいくつかできる。最初は「寿限無」。それにしても話の内容や解説文のユニークさは驚くばかり。古典から現代文まで幅広く、日本語に精通しないと出来ることではない。

最近ではテレビにも毎週出られるが、夢大学にお出になった先生は、まだまだお若い！演壇の前に立ちつばなしでエネルギーがシユに最後までお話しになり、スマートなのにパワー全開で私共の身体全体を揺さぶって下さ



- ユーモアを交えた巧みな話術と、全身を使っての希有なる講演は流石で、コミュニケーションの極意の数々を楽しく学ばせて頂いた。
花高1丁目●土井 芳正
- 人生は肩甲骨だとユニークな話。独特な声でみんなを引きつけ、「ほう、なる程」とうなずいていた私。明朝のウォーキングから「南無八幡大菩薩」...と言っているかも？
川棚町●福田ツネヨ
- TVでの先生のイメージが全く逆になり、テンションの高い声で人のイライラ心をつのらせ、その心理をうまく利用する教授法の一つかなあと、人間の心身の構造をうまくつかんだ話術(断家?)の一端を楽しく拝聴できました。
折橋町●田口 清紀
- 人生は肩甲骨。テンション高く楽しいおしゃべりの講師は、会場の皆をひっぱり込んでの音読。必死な授業は、何だかひと味があった夢大学でした。上機嫌Tシャツ着てみたいものです。
江迎町●山口美津枝
- 声のトーンが高いので不思議に思っていましたら、目的があって、技術の一つだったのでですね。確かに熱心に聞きました。
春日町●有吉 成子
- うら若き高校生の頃、中原中也の詩などを一生懸命暗唱したことを思い出しました。秋の静かなハッピータイムに大声を出してスッキリ！ホッペのシワも減ったような爽快でした。
比良町●岡井 真紀
- 左手にマイク、右手はあらゆるポーズ、ゼスチャー、舞台の演台周りを回りながらの熱弁。中でも、筋肉のこりをほぐす肩甲骨の実技、ストップウォッチでの痴呆症の防止策等々、老いたる者にとり参考にするべきとつくづく思った。
松川町●杉山源次郎
- 今迄の講演は、座って聞くだけでしたが、今回、先生は受講者に体をほぐす運動をさせ、平家物語をひもとかれ、「坊ちゃん」を読んだの質問、歌舞伎役者になりきらせ、先生自ら良く動かれ、テーマより軟らかさを感じました。おかげで心も体もリフレッシュ。
奥山町●古賀アキエ
- プロの教育者、話術の達人による臨場感溢れるライブ講演は圧巻でした。「白浪五人男」の段ですっかりはまって朗読する、日頃は大人しい自分の姿に新鮮、かつ不思議な感覚を覚えました。憧れの齋藤先生の講義が聴けて幸せです。
光月町●国松 仁志
- コミュニケーションの素敵な接し方を、体を使って教えていただきありがとうございます。日本語の美しさを孫に教え、願わくば“じいじ”より早く“ばあば”と言ってほしいと思っていますが...
木風町●西 照美
- 齋藤教授の日本語の表現に感服した90分でした。特にキーの高い語り口、拍手をさせる運動運動と聴衆を眠らせないテクニック、さらに、CD、Tシャツなどの小道具を持参されていたのは、私達「夢大学」に対する熱意を感じました。
大和町●宅島富士彌

すばらしい日本語は ます身体をつくる事から

花高1丁目 薬王寺 保江

私は5、6年前に、齋藤先生のベストセラーとなった「声に出して読みたい日本語」を評判にあやかり買いました。CDを聞くと共に自分自身も声に出して読んだりして、日本語の素晴らしさを認識し感動したものです。最近ではテレビにも毎週出られるが、夢大学にお出になった先生は、まだまだお若い！演壇の前に立ちつばなしでエネルギーがシユに最後までお話しになり、スマートなのにパワー全開で私共の身体全体を揺さぶって下さ

夢のひろば

◆日時／10月15日(木) 午後6時00分～20分

◆演目／長唄「雨の四季」

◆出演／日本舞踊教室「藤豊会」
会主 藤間 裕梓

◆出演者紹介

日本舞踊教室「藤豊会」会主として、自宅、松川町にお稽古場(教室)を置き、5歳児から83歳までの門下生(生徒)に色んな日本舞踊を指導しております。

◆解説

演目の長唄「雨の四季」は、四季それぞれの雨を詠いながら、それに因んだ江戸の風物が豊かに描かれ、日本独特の微妙な季節の移り変わりの詩情を漂わせています。



齋藤先生に乗せられて 歌ならぬ朗読の大合唱!

ったようでした。
今の若い人、学生は元気がない。また、老人は身体が硬く、固まっている。それでは良い声は出ない。そこで、先生自ら肩甲骨をぐるぐる回し、身体を柔らかくする。また、呼吸法、そして膈下丹田をぐっと押すと、自ずと背筋が伸び、声もすうーっと出てくるとの実践をされ、そして大ホール全員起立させられて歌ならぬ朗読を大合唱! 私共全員、先生に奮い立たせられて日本語の良さを認識させられて元気を貰いました。この運動を取り入れていきます。
これからの日本を担う若者(草食系)達が、先生のご指導のもと、力強い頼もしい人へと進化することを期待しています。ありがとうございました。

講演を聴かれた感想をお待ちしています! ※締め切りは講演日の1週間後(必着)

今年の秋は読書の秋に

京坪町 太郎浦 幸子

町内会から「敬老会」の案内を戴き、出席の返事を出して会場に向かう。

近藤理事長より敬老月間についてのお話のあと、お祝の言葉を戴いた。

傘寿に近い私だが、こうして皆様と共に毎月有意義な時間を共有できることを嬉しく思う。

夏休み明けに教授の講演とあって、多少構えて臨んだが、ご登壇の瞬間から初対面とは思えぬほどの打ち解けた話しぶりに引き込まれた九十分であった。

最初から七十分の予定を組んでおられたのには、それなりの訳があつたのと思われたが、

楽しかった一日キャンパス

京坪町 東 裕子

腰を少し落とし、首の前に突き出した、やや「く」の字のポーズ、抑揚ある独特な甲高い声、話し方に先ず「ん?」...と。もしかしたらきつと楽しい方ではないか...と思つた途端、笑いの渦になった。

子供から大人までの講義と多くの経験で、受講生をその雰囲気でもって、決して眠らせない、興味を持たせるような講義法にさつと切り替えられるのはさすがである。

「多くの読書を積まないと、言葉、文字、語意が理解できない」と話されたが本当にその通りだと思ふ。

パソコンでの文字の変換も全くその通りで、変換する文字が多く出てくるが、その語意が理解できていないと正確な文章にならない。

読書は大好きであるが、一冊を読破するのに少々時間がかかってしまう私...これではいけない。

確かに黙読では、しばらく日数がたつと記憶も薄らぎ、数ページ読み返しをするという時間のムダをしている。

それにしても齋藤講師の授業風景は、学生の皆さん、聞き漏らさないよう緊張感漂う時々の辛口、内容豊富で楽しくユーモアたっぷりの講義だろうな...と本物のキャンパスでの講義を受



佐竹典子さんのピアノ演奏

講演を聴かれた感想をお待ちしています!!

●400字詰原稿用紙1~2枚程度にまとめてお書き下さい。短文でも結構です。掲載分にはささやかですが記念品をお送りします。締め切りは講演日の1週間後(必着)といたします。感動がさめないうちになるべく早く書いてお出し下さい。

●せっかく頂いた原稿でも、紙面の都合上掲載されない場合があります。また、一部省略させていただくこともありますので、ご了承下さい。

あて先は、〒857-0863 佐世保市三浦町4-30 松蔵ビル3F
させば夢大学 事務局



講したくなったのは私だけではないだろう。
これからは肩甲骨マッサージ、ゆらゆら体操を取り入れて気分転換をはかり、先生のおっしゃる「音読」を久しぶりに実行してみよう。



とんちみや 頓知碕屋と呼ばれた

天下の奇人 徳田真寿翁

江迎町史談会 会員

広久保 寿

6

惑したという。また、懐中時計は特に大きく直径四寸（約十五センチ）位の大きさ、大きな鎖をつけて、これも旅行の際携えたものである。

古銭蒐集でも有名で日本、外国の貨幣三千種にのぼり、日本古銭蒐集家番付の上位にあったと言われる。切手の蒐集も広範にわたり、二万枚程であったと言われている。

絵は主としてだるまの絵で、七十歳過ぎから描き始めたが、味があり巧みなものであった。

また奇習の中でも特筆すべきものは、三角形へのこだわりである。家具調度品は三角のものばかりである。お膳、卓袱台、椀、皿、盃、箸に至るまで「三角形」である。「三角は円に通じる。三角を合わせると円になる。円は時間、空間、無限の発展性を表し、安定性があり、一円融合の精神ともつながる。三角形の膳をつき合わせて車座となり、みんな輪になって喜びをともにすることができると言うのである。

これらのもは全て特別注文で輪島塗のすばらしいものであり、それぞれ色が違い、文様も異なっている。卓袱台には「ひょうたんから駒」、吸い物椀はくりぬきで、蓋には元禄の風俗色ちがいである。弁当箱は家紋

奇人として全国的に知られた人で、奇習の数々は今も残り、遠くより訪れその面影を偲ぶ人は多い。
氏は慶応三年に生まれ、若い頃の苦勞の経験から、人生を明るく面白く過ごそうという考え方が奇人としての機縁となったものといわれている。
十七歳のころ海軍に志願入隊し、日清、日露の戦役に従軍した。奇抜なことをして他人を笑わせることが多く、失敗も笑って許されたという。
趣味としては旅行、古銭蒐集、切手蒐集、絵画（特にだるまの絵）など多趣味であった。旅行の時は家紋のついた洋服に袴をつけ、一銭銅貨をメリケン袋に入れ天秤棒で担いで出かけた。汽車賃を払うにも、買い物をするにも一銭銅貨を一枚ずつ数えなければならず、相手は大変困

つき、盃洗の朱色の美しき、飯櫃のあけほの塗りのあでやかさ、しゃもじにも家紋が描かれ、給仕盆にも「権兵衛の種まき」「どじょう掬い」の図柄が描かれている。
実印も、墓石もまた三角形である。江迎町中央公民館のすぐ横にその墓はある。氏の没後三男が建立したもので、墓園の入り口には石の門柱があり、右の柱には「真常一路枯木花咲」、左の柱には「如夢如屈テケレツツノパァ渴」と書かれている。戒名は「○十院殿釈有耶無耶大居士（レイジユウインデンシヤクウヤムヤダイゴジ）。こうした奇人ぶりも決して節を失うものではなかった。

子供の教育には厳格であった。うそを言うことを嫌い、負けず嫌いで、常に兄妹助け合っていくよう諭したという。



特大の懐中時計、三角形の実印など

事務のたのしみ



●「自画自賛!!」のお許しを
18期も早いもので第5回講演会が終了しました。その5回とも受講生が1,800名を超えるという大盛況ぶりです。皆様の熱心な学習意欲に今更のように驚くと同時に喜ばしい限りです。

連続ヒット200本の大記録達成のように、おごることなくこれからも着実な歩みが続けたいと念じています。

実は先月、広島以西の西日本地区市民大学の実務者会議が開催され、理事長以下数名で参加し情報交換をしてきました。数年前まで15近くの市民大学があったのに、会員数の減少など諸般の事情があつたとは言え、半減してしまえば寂しい思いをしています。この会議でさせば夢大学の受講生の出席状況とか受講の様子、スタッフへの温かい心遣い、特に学生募集があつたと言つて間に定員に達し、キャンセル待ちの方数百名をお断りしていることなど、元気なさせば夢大学の実績を話すことができました。

●第9回「桑田真澄さんの講演会」の期日が1月21日から20日へ変更になりました。現時点でその他の講演会は、夢のつづき172号でお知らせしていた講師さんで予定どおり順調に運んでいます。

でも、油断は禁物！大リーグ”イチロー”の9年

●追伸「させばは大丈夫？」
そうでした！忘れていました。各市民大学とも座席指定でなく自由席となつていて、させば夢大学と同じくみになつていました。ところが席取りが各大学とも悩みの種になつてくるそうです。夢大学でもごく一部に「会員の品格」が問われる方が……？
目指しましょう、品位の点でも胸が張れるように!!